

各報道機関 様

KJ00539282
2025年10月1日

発信課	社会教育部文化振興課彫刻美術館
担当者	臼杵
連絡先	電 話 46-6277
	F A X 46-6288
	E-mail sculpture_mus@city.asahikawa.lg.jp

分 類	イベント・行事 ☒ 募集 ☐ 契約・入札 ☐ 会議・説明会 ☐ その他 ☐
日 程	令和7年11月1日 9時00分 ～ 令和7年11月2日 15時30分
発表項目 (行事名)	旭川彫刻フェスタ2025ワークショップの開催について
概 要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	旭川彫刻フェスタ2025ワークショップ「見えない形と見える形 粘土の中に広がる手探りの世界」 伝統的な彫刻素材の中で、粘土は最も柔らかく直接的に手や指の力によって形態を変化させられる自由な素材です。今回のワークショップでは粘土の中に空洞を掘り出します。空洞は目で確認することが出来ません。「目で見ること」だけではなく「手で触り想像すること」を頼りにした作品制作を行います。更に粘土の中に作り出された空洞に石膏を流し込み、素材と形態の転換を図ることで、作者の意図やアイデアの枠を飛び越え、新たな世界の発見を促す体験となります。 【日時】 (1)令和7年11月1日（土曜日） 9時～16時30分 (2)令和7年11月2日（日曜日） 9時～15時30分 いずれか一日 【場所】 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館ステーションギャラリー (旭川市宮下通8丁目3-1 [JR旭川駅東口]) 【講師】 第43回中原悌二郎賞受賞者・中谷ミチコ氏（多摩美術大学准教授） 【内容】 粘土のかたまり（一人20kg）に指や粘土べら、身近な道具や拾ってきたモノを使って穴を掘り出し、その空洞に石膏を流し込んで作品を作ります。完成した作品は、1週間ステーションギャラリーに展示し、1週間後に各自持ち帰ります。 ※対象：中学生～大学生程度、定員各日10名（要申込・先着順）、参加費無料 【主催】 旭川彫刻フェスタ実行委員会
添付資料	有 ☒ 無 ☐
報道（取材）に当たってのお願い	
備 考	

旭川彫刻 フェスタ ASAHIKAWA SCULPTURE FESTIVAL

「旭川彫刻フェスタ」は 2000 年に『彫刻のまち旭川』の魅力を広くアピールし、より身近なものとして彫刻に親しんでもらいたいとの思いからスタートしました。これまでの取り組みの中で公開制作により完成させた 16 点の彫刻作品は、旭川市内の公園や公共施設などに設置され、市民や観光客の目を楽しませています。また、ワークショップや講演会など子どもから大人まで広く彫刻への関心を深めるきっかけを作ってきました。

25 年間の取り組みや作品をパネルや動画でご紹介いたします。

講師

第 43 回 (2023 年)
／中原悌二郎賞受賞者／
中谷ミチコさん
(多摩美術大学准教授)

による

旭川彫刻フェスタ 2025 公開ワークショップ

「見えない形と見える形

粘土の中に広がる手探りの世界」

日時：① 11 月 1 日(土) 9:00～16:30

② 11 月 2 日(日) 9:00～15:30 いずれか一日

対象：中学生～大学生程度

／彫刻やアートに興味のある若者の参加をお待ちしております／

定員：各 10 人 (要予約・先着順)

詳しくは旭川市彫刻美術館 HP へ

※ワークショップは展示室にて公開で行います。

参加無料

『彫刻ねんど広場』

約 300Kg の粘土を使って自由に彫刻制作
体験(粘土遊び)ができます

日時：11 月 8 日(土)

10:30～15:30

対象：どなたでも (予約不要・出入り自由)

※小学 3 年生以下のお子様は保護者同伴でお願いします

持ち物：汚れてもいい服装、手拭きタオル
(ウエットティッシュ等)



手や足を使って
自由に遊ぼう！

旭川周彫刻フェスタの記録展

中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館ステーションギャラリー

(北海道旭川市宮下通 8 丁目 3-1 JR 旭川駅東口)

2025 年

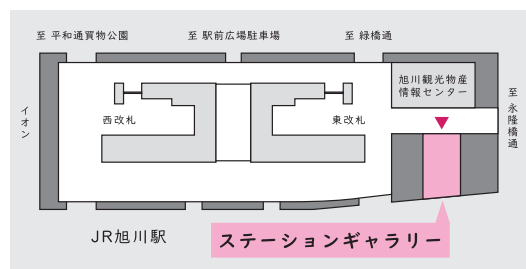
10 月 4 日(土) ▶ 11 月 9 日(日)

開館時間 ◆ 午前 10 時 30 分～午後 6 時 30 分 (入館は午後 6 時 15 分まで)

休館日 ◆ 毎週月曜日 (月曜が祝日の場合は翌日)

観覧料 ◆ 無料

主催 ◆ 旭川彫刻フェスタ実行委員会、中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館



中原悌二郎記念
旭川市彫刻美術館
STATION GALLERY

〒070-0030 旭川市宮下通 8 丁目 ☎0166-46-6277 Fax 0166-46-6288
<http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/sculpture>



旭川彫刻フェスタ 2025 ワークショップ

「見えない形と見える形 粘土の中に広がる手探りの世界」

伝統的な彫刻素材の中で、粘土は最も柔らかく直接的に手や指の力によって形態を変化させられる自由な素材です。今回のワークショップでは粘土の中に空洞を掘り出します。空洞は目で確認することが出来ません。「目で見る」だけではなく「手で触り想像すること」を頼りにした作品制作を行います。更に粘土の中に作り出された空洞に石膏を流し込み、素材と形態の転換を図ることで、作者の意図やアイデアの枠を飛び越え、新たな世界の発見を促す体験となります。完成した作品はステーションギャラリーに展示し、1週間後に参加者が各自持ち帰ります。

一人あたり 20 kg の粘土のブロックを
手や道具を使って掘って...

石膏を入れると...

どんなかたちができるかな？

第43回中原悌二郎賞受賞作品
《デコボコの舟》
撮影：若林 勇人
提供：アートフロントギャラリー



第43回（2023年）中原悌二郎賞受賞／

講師 中谷 ミチコさん
(多摩美術大学准教授)



日時

- ① 11月1日(土) 9:00 ~ 16:30 いずれか一日
② 11月2日(日) 9:00 ~ 15:30 ※受付は8:50 ~
途中お昼休憩をはさみます

場所

中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館ステーションギャラリー
(旭川市宮下通8丁目3-1 JR旭川駅東口) ※旭川駅直結

対象

中学生～大学生程度
※ワークショップのお手伝いをしてくれるアシスタントも募集しています。

定員

各日10名(事前申込・先着順)

参加料

無料

持ち物

汚れてもよい服装(作業着)、汚れてもよい靴、手拭きタオル、
家にある「粘土を掘れそうなもの」や「面白いかたちの身近なもの」など
昼食・飲み物(必要に応じて) ※ステーションギャラリー内での食事はご遠慮いただいております。
近隣の施設や旭川駅構内などをご利用ください。



申込・問合せ

中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館

電話：0166-46-6277

申込フォーム：https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/sculpture/sculpture_update/d065311.html

